

近畿地方植物誌 (3)

村 田 源

180. *Synurus excelsus* (Makino) Kitam. ハバマヤボクチ 葉は三角状戟形、頭花の柄は短く、花筒の狭部は他とほぼ同長、Ⅸ—Ⅹ、〔兵〕粟鹿山、〔滋〕多羅尾村、〔三〕上津村、〔和〕八幡村。本〔盤城以西〕→九、澁州島。〔牧野図鑑48図〕
181. *S. palmatopinatifidus* (Makino) Kitam. キクバヤマボクチ 葉は掌状に分裂、総苞片は細く針状、Ⅸ—Ⅺ、〔兵〕生野、六甲山、摩耶山、〔京〕比叡山、青葉山、半国山、芦生、〔滋〕比良山。本〔近畿以西〕→九。〔牧野図鑑46図〕
var. *indivisus* Kitam. ヤマボクチ 葉は分裂しない、〔滋〕三国山、竜ヶ岳、〔三〕多度山、〔和〕高野山。本〔越前、三河以西〕→九、朝。
182. *S. pungens* (Fr. et Sav.) Kitam. オヤマボクチ 葉は心形、頭花の枝は長く、花筒狭部はごく短い、Ⅸ—Ⅹ、〔滋〕大箕山。本〔近畿以北〕、四、⁸⁾北、中支。〔牧野図鑑47図〕
183. *Taraxacum albidum* Dahlst. シロバナタンポポ 葉は淡緑、花は白、Ⅰ—Ⅴ、〔兵〕出石、〔京〕鳥岳、太鼓山、伏見、〔滋〕河西村、油日村、葉山村、三国山、〔奈〕榛原。本〔中部以西〕→九。〔牧野図鑑24図〕
184. *T. Arakii* Kitam. ヤマザトタンポポ 総苞外片は内片の $\frac{1}{2}$ 、卵状長楕円形で縁辺膜質淡紫色を帯びる、Ⅱ—Ⅴ、〔兵〕出石 (Type)、山口村、兎塚村、妙見山、〔京〕上和知村、上豊富村、〔奈〕宇賀志村。本〔近畿、中国〕、四。
185. *T. ceratolepis* Kitam. ケンサキタンポポ 総苞は長さ約21mm、外片はやや開出し内片の $\frac{1}{2}$ に達せず、角状突起がある、Ⅱ—Ⅴ、〔兵〕西気村、〔京〕東八田村 (Type)、南桑田郡三股谷、〔滋〕油日村。本〔近畿北部、山陰〕。
186. *T. elatum* Kitam. セイタカタンポポ 総苞は長さ約2cm、外片は長楕円状披針形で角状突起なく内片の $\frac{1}{2}$ に達す、Ⅳ—Ⅴ、〔滋〕山上村 (Type)、柳ヶ瀬、西大路村、米原、下田上村、彦根、永源寺、〔三〕藤原岳。本〔近畿東部—中部地方西部〕。
var. *ibukiense* Kitam. イブキタンポポ 総苞片は背面黒緑色で縁辺白膜質、〔滋〕伊吹山 (Type)。特産。
var. *deforme* Kitam. ナガオカタンポポ 総苞外片は著しく大形となる、〔滋〕近江長岡 (Type)。特産。
187. *T. japonicum* Koidz. カンサイタンポポ 総苞は花時13mm内外、外片は被針形で内片の $\frac{1}{2}$ に達せず、先は凸起がないか又はごく小凸起あり、Ⅰ—Ⅴ、〔兵〕有馬、小田村、松井庄村、〔京〕京都市 (Type)、福知山、老ノ坂、比叡山、大江山、〔滋〕石山、大津、堅田、〔大〕私市、三田、〔三〕浴田峠鈴鹿、〔奈〕内牧村、〔和〕御坊町、八幡村、本〔近畿以西〕→琉球。〔牧野図鑑3243図〕
188. *T. longeappendiculatum* Nakai ヒロハタンポポ トウカイタンポポ、ジングウタンポポ、ケンサキタンポポより小形で総苞は長さ15—16mm、外片は内片の $\frac{1}{2}$ 以上に達し角状突起あり、Ⅱ—Ⅴ、〔和〕潮岬、〔三〕鳥羽、朝熊山、北浜村、宇治山田。本〔房州以西表日本〕。
189. *T. pectinatum* Kitam. クシバタンポポ 総苞は長さ約2cm、外片は卵形で凸起なく内片の $\frac{1}{2}$ に達しない、葉は細かく切れ込む、Ⅳ—Ⅴ、〔京〕東八田村、大江山、芦生、弥仙、青葉山、愛宕山、〔和〕八幡村、〔三〕平倉山、滝原村。本〔越中、近畿〕、四。
190. *Wedelia chinensis* (Osbeck) Merr. クマノギク 総苞は長さ8—9mm、冠毛は盔形、Ⅴ—Ⅺ、〔和〕大島、岩代村、東富田村。海岸生。本〔伊豆以西〕→台、東南アジア。〔牧野図鑑164図〕
191. *W. prostrata* (Hook. et Arn.) Hemsl. ネコノシタ ハマグルマ、葉は厚く長さ4cm以下、頭花は1個、Ⅶ—Ⅹ、〔兵〕筒飯野浜、〔大〕浜寺、〔京〕湊村、〔三〕伊倉津、二見、〔和〕勝浦、瀬戸。海岸生。本〔房総、北陸以西〕→台、小、澁州島、支、印支。〔牧野図鑑163図〕
192. *W. robusta* (Makino) Kitam. オオハマグルマ 葉は卵形で長さ3—12cm、頭花は1—3個、Ⅳ—Ⅺ、〔和〕和深村。海岸生。本〔紀伊〕→九、琉。
193. *Xanthium canadense* Mill. オオオナモミ 果実の先のくちばしは長さ3mm、Ⅷ—Ⅹ、〔滋〕木ノ本村、〔京〕嵯峨。北米原産帰化。〔寺崎誌2256図〕
194. *X. spinosum* L. トゲオナモミ 葉は披針形でアカザに似てとげあり、〔大〕十三、〔三〕津。熱米原産帰化。〔久内帰化植物134図〕

195. *X. strumarium* L. var. *japonicum* (Widd.) Hara オナモミ 果実の先のくぼしは長さ1.5—2 mm、とげは長さ1.5—2 mm、Ⅷ—Ⅹ、〔兵〕八鹿町、洲本、船城村、〔京〕湊村、下川口村、福知山、〔大〕豊中、桜島、〔和〕瀬戸船山村、〔滋〕大津。北→台、朝、アジア。〔牧野図鑑171図〕

196. *Youngia chelidoniifolia* (Makino) Kitam. クサノオウバノギク クサノオウバノケマン葉は羽状に分裂しクサノオウ状、Ⅷ—Ⅸ、〔奈〕大峯山、〔三〕大台ヶ原、梶尾峠。本〔下野、大和〕、四、朝、満。

197. *Y. denticulata* (Houtt.) Kitam. ヤクシソウ Ⅸ—Ⅺ、〔兵〕神戸背山、小金岳、〔京〕牛尾山、乙訓村、知井村、〔滋〕比叡山、〔大〕金剛山、〔奈〕白川渡、川上村、〔和〕那智山、評議峠、高野山。北→九、朝、東亜、印支。〔牧野図鑑16図〕

form. *pinnatipartita* (Makino) Nakai ハナヤクシソウ 葉は羽状に深裂する、〔京〕比叡山。

198. *Y. japonica* (L.) DC. オニタヒラコ Ⅳ—Ⅶ、〔京〕大文字山、花園、上賀茂、〔滋〕三重岳、〔奈〕春日山、宇賀志村、〔三〕赤目、須賀利村。北→台、小、朝、東南アジア、ポリネシア、濠。〔牧野図鑑28図〕

追 加

20. カズザキヨモギの項の後え〔滋〕賤ヶ岳(Type)⁹⁾。

23. の次え 199. *Aster fastigiatus* Fisch. ヒメシオン Ⅷ—Ⅹ、〔滋〕綿向山、豊原村、〔和〕貴志。本→九、朝、満、ダフリア、支。〔牧野図鑑213図〕

26. var. *Harai* (Makino) Hara サガミギク ムラサキシロヨメナ〔和〕大塔山国有林〔岡本省吾採集〕。本〔関東→近畿〕。

46.¹⁰⁾ subsp. *orientalis* var. *ramosa* (Maxim.) Kitam. オオバコウモリ 高さ1.5m、葉は長さ15 cm、巾22cmに達し総苞は長さ7.5—10mm。〔奈〕大普賢岳。本〔近畿—中部〕。

69. form. *tubulosum* (Honda) Hara チヨクザキリユウノウギク 〔京〕比叡山。

200. *C. pacificum* Nakai イソギク 〔京〕網野。海

岸岩上生(逸出?自然分布とは考え難し)。本〔関東、伊豆、駿河〕。

201. *Cirsium indefensum* Kitam. トゲナシアザミ Ⅷ—Ⅹ、〔兵〕千種村。本〔山陰地方〕。(79の次え)

202. *C. norikurense* Nakai var. *integrifolium* Kitam. マルバナリクラアザミ ユキアザミ、葉は抱茎し下面白色で分裂せず総苞片は細く薄い、Ⅷ—Ⅹ、〔滋〕金叢岳。本〔近畿北部—中部地方〕。(87の次え)

203. *C. Tanakae* (Fr. et Sav.) Matsum. ノハラアザミ Ⅷ—Ⅹ、〔滋〕伊吹山。本〔近畿以北〕。〔牧野図鑑61図〕(89の次え)

204. *C. yezoense* (Maxim.) Makino サワアザミ 大形で頭花は巾4—5 cm、総苞片は披針形で頭花の基部に2—4個の大形の苞葉がある、Ⅸ—Ⅹ、〔滋〕丹生。本〔近畿北部以北〕、北〔南部〕。(90の次え)

205. *Rudbeckia laciniata* L. オオハンゴンソウ 〔京〕花背村。北米原産帰化。山間溪側に生える。〔牧野図鑑165図〕

206. *Senecio*¹¹⁾ *nemorensis* L. キオン ヒゴオミ ナエシ Ⅷ—Ⅸ、〔滋〕伊吹山。樺、千→九、台、支、朝、シベリア、欧。〔牧野図鑑89図〕

207. *Erigeron acris* L. var. *linearifolius* (Koidz.) Kitam. ホソバムカシヨモギ Ⅶ—Ⅷ、〔滋〕比良山。本、四。

(訂 正)

誤 正

2. *Adenocaulon himeaicum*

Adenocaulon himaraicum

8. subsp. *yedoensis* subsp. *yedoensis*

11. *Artemisia* *Artemisia*

12. *A. apiac* *A. apiacea*

21. *A. dubia* Wall. *A. asiatica* Nakai

23. 〔和〕田辺南部 〔和〕田辺、南部、

30. 本〔信州以西〕 本〔関東以西〕

31. *semiamplexicaulis* *semiamplexicaulis*

註 9) 北村:兵庫県中等教育博物学雑誌 8—9号 p.15 (1943) による。

註 10) 註 2 にヨブスマソウと記した岡本勇治氏の標本は奈良女子大にあり再検したところこれであつた。

尚 *Cacalia* にはヨブスマソウ、コウモリソウ、ミミコウモリ、タマブキが井上三義: 兵庫県植物目録(和名篇) 42頁(1953); 山鳥吉五郎: 兵中教博雑 No. 8—9、159 (1943); 中川菊市: 兵博会誌 No. 19、50; 田代善太郎: 兵博会誌 No. 3、17; 建部恵潤: 兵博会誌 No. 18、43; 兵庫県博物学会会誌: 播磨植物目録、等に出ているがいづれも再検を要する。

註 11) ハンゴンソウが伊吹山に産すというのが実地にまだこれを見ず。橋本忠太郎: 近江博物会誌 5号11頁(1938)

※ ヤマトバコ兵庫県博物学会編、播磨植物目録 p. 67 (1935) に実粟郡河内に大上氏の記録あり。ハチジヨウナ山鳥吉五郎: 兵中教博雑 No. 5、p. 13 及び田口美智太郎: 但馬植物目録(膳)に記録あるもまだ標本を検し得ず。

43. 一Ⅸを取る
47. (奈) 百川渡を取る
比叡山 比良山
65. 分布の中より四国を取る
- 註3. 山本氏 岡本勇治氏
73. (和) ヤノコ峠 (三) 矢ノ川峠
86. ホクコクアザミ ホクコクアザミ
87. (京) 高尾 (京) 高雄
90. 30—509cm 30—50cm
91. 7裂 7列
92. (三) 九魂村 (三) 九鬼村
96. Eclipta Eclipta
- 註7. (Kitam.) Ohmi (Kitam.) Ohwi
122. オオガナ オオバナニガナ、オオニガナ
172. セタタカアワダチソウ セイタカアワダチソウ
- 2 Campanulaceae キキヨウ科**
208. *Adenophora nikoensis* Fr. et Sav. form. nipponica (Kitam.) Hara ミヤマシヤジン 萼裂片は披針形で全縁、Ⅷ—Ⅸ、(奈) 産地不明 (T. Tada 1a)。稀。本 (岩代—大和)。(牧野図鑑251図)
209. *A. remotiflora* (Sieb. et Zucc.) Miq. ソバナ Ⅷ、(兵) 氷ノ山、(滋) 伊吹山、綿向山、霊仙山。本、四、九、朝、満、支。(牧野図鑑249図)
210. *A. triphylla* (Thunb.) A. DC. subsp. *aperticampanulata* Kitam. ツリガネニンジン 花は鐘形で先は狭くならない、Ⅷ—Ⅸ、(兵) 竹田村、前山村、香住、(京) 山中越、桂川、西別院村、向島、(奈) 室生、(滋) 伊吹山、(三) 伊賀、河枝村、(和) 竜門山。山野に普通。(牧野図鑑247図)
- f. *canescens* (Fr. et Sav.) Kitam. シラゲシヤジン 茎葉に密に白毛がある、(京) 上賀茂、比叡山、(奈) 室生、(和) 田辺。
- var. *hakusanensis* (Nakai) Kitam. ハクサンシヤジン 丈低く花序はやや穂状になる、(滋) 伊吹山。
211. *Asyneuma japonicum* (Miq.) Briq. シデシヤジン 花冠は基部まで5深裂する、Ⅷ、(滋) 伊吹山、(兵) 城北村。山地生。本、九、朝、満、アムール、ウスリー。(牧野図鑑246図)
212. *Campanula hondoensis* Kitam. ヤマホタルブクロ ホンドホタルブクロ、萼裂片間に反展する附属物がない、Ⅶ—Ⅷ、(滋) 伊吹山、(奈) 室生、(京) 鷲峯山、本 (関東—近畿)。
113. *C. punctata* Lam. ホタルブクロ 萼裂片の間

- に反展する附属物がある、Ⅶ—Ⅷ、(大) 金剛山、岩湧山、(京) 比叡山、知井村、青島、(滋) 伊吹山、上田上村、(奈) 前鬼、(和) 竜門山、高野山、(兵) 有馬。北→九、朝、東亜温帯。(牧野図鑑252図)
214. *Campanumoea Maximowiczii* Honda ツルギキヨウ 葉は対生、花は液生、Ⅷ—Ⅸ、(大) 紀見峠、(和) 七川村。本 (関東以西)→九、対、合。(牧野図鑑241図)
215. *Codonopsis lanceolata* (Sieb. et Zucc.) Trautv. ツルニンジン 花は広鐘形で葉は無毛となる。Ⅷ—Ⅸ、(兵) 氷ノ山、(京) 比叡山、大悲山、善峰寺、(滋) 音羽山、(奈) 金剛山、(和) 高野山、秋津川村。北→九、朝、満、支、ウスリー。(牧野図鑑242図)
216. *C. ussuriensis* (Rupr. et Maxim.) Hemsl. バアソブ 葉は有毛、花は鐘形、Ⅷ—Ⅷ、(奈) 百川渡。やや稀。北→九、朝、東亜温帯。(牧野図鑑243図)
217. *Lobelia chinensis* Lour. ミゾカクシ アゼムシロ Ⅶ—Ⅸ、(京) 向島、八木町、(滋) 日野町、(大) 堺、(和) 北山村、西富田村。北→合、朝、東南アジア。(牧野図鑑238図)
218. *L. inflata* L. ロベリア Ⅷ—Ⅸ、(兵) 神戸。帰化。
219. *L. sessilifolia* Lamb. サワギキヨウ Ⅷ—Ⅸ、(京) 松ヶ崎、大河原村、(大) 牧野村、(奈) 古光山、(三) 上津村、霊山。千、樺→九、朝、合、東亜温帯。(牧野図鑑239図)
220. *Peracarpa carnosus* var. *circaeoides* (Fr. Schm.) Makino タニギキヨウ Ⅶ—Ⅷ、(兵) 氷ノ山、(京) 下賀茂、船岡山、保津峡、比叡山、大文字山、(滋) 瀬田、比良山、(奈) 金剛山、(三) 尾鷲町。千、樺→九、済、カムチャツカ。(牧野図鑑245図)
221. *Platycodon grandiflorum* (Jaq.) A. DC. キキヨウ Ⅷ—Ⅸ、(京) 甘南備山、鷲峯山、(滋) 北比都佐村、(和) 竜門山。北→九、朝、東亜温帯。(牧野図鑑240図)
222. *Specularia perfoliata* L. キキヨウソウ Ⅶ—Ⅷ、(滋) 野州、三上村、(三) 四日市、楠村、(京) 寺田村、(兵) 加古川。北米原産帰化。
223. *Wahlenbergia marginata* (Thunb.) A. DC. ヒナギキヨウ Ⅶ—Ⅷ、(京) 京都、(大) 堺、各地路傍に普通。本 (伊豆、越中以西)→合、朝、支。(牧野図鑑244図)

註 12) 原：植物研究雑誌Ⅷ、467 (1937) による。尙マルバノニンジン但馬(田口美智太郎：但馬植物目録1926版)、サイヨウシヤジン粟鹿山(細見末男：兵博会議11号 p. 61, 中川菊市：同会誌19号 p. 50, 井上三義：兵庫県植物目録と名編 p. 41版)に記録あるも再検の要あり。

3 Cucurbitaceae ウリ科

224. *Actinostemma lobatum* (Maxim.) Maxim.
モミジバゴキソル 葉は5中一深裂、Ⅶ—Ⅹ、(兵)竹田村。やや少い。本→合、朝、東亜温帯。
form. *subintegrum* Komar. ゴキソル 葉は3角状で深く切れ込まない、(大)堺、信太山、香里園、(京)向島、洗、八木町。本→合、朝、東亜温帯。(牧野図鑑278図)
225. *Gynostemma pentaphyllum* (Thunb.) Makino
アマチャヅル 葉は5小葉から成る、Ⅶ—Ⅹ、(京)京都、八木町、(奈)金剛山、(三)治田村、霊山。北→合、朝、東南亜。(牧野図鑑257図)
226. *Melothria japonica* (Thunb.) Maxim. スズメウリ 雄ずい3、種子は多数水平に並ぶ、Ⅶ—Ⅹ、(京)京都、稲荷、上賀茂、花園、(三)治田村、(奈)高取山。本→九、対、済。(牧野図鑑277図)
227. *Schizopepon bryoniaefolius* Maxim. ミヤマニガウリ Ⅶ—Ⅹ、(兵)氷ノ山、畑ヶ平、(滋)霊仙山、藤原岳、(奈)大合ヶ原。千(南)、樺→九、朝、東亜温帯。(牧野図鑑276図)
228. *Trichosanthes cucumeroides* (Seringe) Maxim. カラスウリ 莖葉は有毛、実は赤熟し先は丸い、Ⅶ—Ⅹ、(兵)的形、(京)京都、(滋)秦川村、北比都佐村、(和)勝浦、(ヨ)九鬼村。本→合、支。(牧野図鑑 263図)
229. *T. Kirilowii* Maxim. var. *japonica* (Miq.) Kitam. キカラスウリ 莖は無毛となり実は黄熟、Ⅶ—Ⅹ、(兵)神楽村、(京)鷲峯山、(三)朝熊山。北(南部)→疏。(牧野図鑑264図)
230. *T. multiloba* Miq. モミジカラスウリ 葉は5—9中一深裂、Ⅶ、(兵)妙見山、三笠山、(奈)宇賀志村、吉野、室生、柏木、前鬼、(和)那智、北山村、八幡村。本(近畿以西)→九。(寺崎図譜続2294, 5図)

4 Dipsacaceae マツムシソウ科

231. *Dipsacus japonicus* Miq. ナベナ Ⅶ—Ⅹ、(京)貴船、(兵)神楽村。本→九、朝、満、支。(牧野図鑑280図)
232. *Scabiosa japonica* Miq. マツムシソウ Ⅶ—Ⅹ、(滋)西大路村、鎌掛、(奈)金剛山、(三)霊山、上津村、(和)黒沢山。本→九。(牧野図鑑279図)

form. *albiflora* (Honda) Hara シロバナマツムシソウ (和)生石山。

5 Valerianaceae オミナエシ科

233. *Patrinia hybrida* Makino オトコオミナエシ オミナエシとオトコエシとの雑種、Ⅶ—Ⅹ、(京)雲ヶ畑。本、九。
234. *P. scabiosaefolia* Fish. オミナエシ 毛少く花は黄色、Ⅶ—Ⅹ、(兵)千ヶ峯、千種村、小金岳、三笠山、(京)成相山、高庵寺山、(滋)伊吹山、多羅尾村、(三)稻生村、(和)竜門山、護摩壇山。千、樺→合、朝、支、満、東シベリア。(牧野図鑑285図)
335. *P. Takeuchiana* Makino オオキンレイカ Ⅶ—Ⅹ、(京)青葉山。特産。稀。
236. *P. triloba* (Miq.) Miq. キンレイカ¹³⁾ 花冠の距は2.5—3 mm、Ⅶ—Ⅹ、(滋)比良山、釈迦岳、(奈)大合ヶ原、大峯山、(三)大杉谷、鎌ヶ岳。本(関東以西)、九。(増訂草木図説1:64)
237. *P. villosa* (Thunb.) Juss. オトコエシ 全体毛多く花は白色、Ⅶ—Ⅹ、(兵)奥谷村、三笠山、千種村、(京)比叡山、愛宕山、(滋)伊吹山、三國山、(三)上津村、尾鷲。北→疏、朝、満、支。(牧野図鑑286図)
238. *Valeriana Fauriei* Briq. カノコソウ ハルオミナエシ花冠は長さ5—7 mm蕊は長くつき出る、Ⅶ—Ⅹ、(滋)伊吹山、(奈)金剛山。稀。千、樺→合、朝、満。(牧野図鑑94図)
239. *V. flaccidissima* Maxim. ツルカノコソウ 軟弱で多くつるを地上に引き、花冠は2 mm内外で蕊はつき出ない、Ⅳ—Ⅵ、(京)善峰寺、大原、比叡山、貴船、芦生、雪ヶ畑、大江山、(兵)朝来町、(大)天見村、(奈)宇賀志村、柏木、(三)治田村。本→九、合。(牧野図鑑283図)
240. *Valerianella olitoria* (L.) Poll. ノジシャ Ⅳ—Ⅴ、(京)北野、八木町、(大)箕面、尼ヶ崎(滋)日吉。歐洲原産帰化。(牧野図鑑284図)

6 Adoxaceae レンブクソウ科

241. *Adoxa Moschatellina* L. var. *inodora* Falc. レンブクソウ Ⅲ—Ⅳ、(京)比叡山、江文峠、八木町、(滋)鳥居本村、(三)藤原岳、(大)箕面。本(近畿以北)→樺、千、朝、北半球温帯。(牧野図鑑290図)

註 13) 大井：日本植物誌、原：種子植物集覧Ⅱによるとコキンレイカ、ハクサンオミナエシ var. *gibbosa* (Makino) Matsum. が近畿地方まで分布する様になつて居るが筆者はまだかかる形のものを見ることがない。奥山氏(植研26:319)も記して居られる様に距の短かいコキンレイカの分布は大体本州中部の裏日本で、距の長いキンレイカの方は秩父山地から西表日本側に分布している。八ヶ岳、富士、箱根等のものは皆この形である。